

# ケアセンター成瀬住民の会設立 30 周年記念号



# りんご箱

住民の会だより  
第 140 号

2024 年(令和 6 年)2 月 発行：住民の会広報委員会 電話：729-0617 発行責任者：佐藤康夫

社会福祉法人 創和会 理事長 西嶋 公子

住民の会設立30周年おめでとうございます。

平成4年の署名活動から始まったケアセンター成瀬の歴史は、地域包括ケアを実現するための住民運動でした。その運動の中心となつて「創和会」を支え続けて下さったのが住民の会です。理事以下職員一同感謝しています。

ダンケムジークの会のコンサートも毎回素晴らしい音楽会でした。その他の会員の皆様も、様々な活動で支えあう街づくりに参加して下さいました。コロナの流行で集会が開けなくなりましたが、これからも皆様お元気で共に住み良い街を創りましょう。

## 住民の会設立 30 周年記念に寄せて

ケアセンター成瀬住民の会 会長 佐藤 康夫

新年おめでとございます。

今から30年前に、今後迎えるであろう高齢化社会を想定して、当地域の先進的な皆様の熱意と行動力でケアセンター成瀬住民の会が設立され現在に至っております。

この間、活動の方向性の問題で困難な時期が多々ありましたが「住民の会の会員で良かった。救われた。」等の「意見を聞く度」この会を持続し、更に新たな発展をする事が、引き継いだ我々の使命だと痛感して諸活動を実践しております。

ここ3年間はコロナの影響で会員の皆様との交流が大幅に制限されておりますが、住民の会事務局スタッフのチームワークで情報交換と事務業務は継続されております。主な活動として会員の皆様への情報の発信シンボルであります広報紙「りんご箱」を厳しい取材環境の中でも発行し続けますので、会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

## 祝 住民の会設立 30 周年

特定非営利活動法人

### NPO アップルサービス

法人本部：町田市成瀬台2-2-9  
活動部署：町田市成瀬台3-24-1  
(ケアセンター成瀬内)  
Tel & Fax 042-721-3004



- \* 食事サービス事業部「暖」
- \* アップルすまいサービス
- \* ホームヘルプサービス

安心して楽しく暮らせる  
街づくりのお手伝いをいたします

## 住民の会設立 30 周年 おめでとうございます

社会福祉法人 創和会

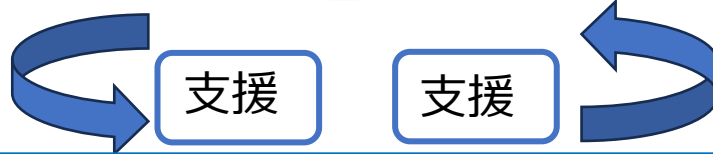
### ケアセンター成瀬

町田市成瀬台 3 - 24 - 1  
☎042-720-2202

- \* 地域密着型特別養護老人ホーム・暖家
- \* ケアセンター成瀬・デイサービス (通所介護)
- \* ヘルパーステーション成瀬 (訪問介護)
- \* ケアマネジメントセンター成瀬 (居宅介護)
- \* 木曽東グループホーム圓 (まどか)

町田市木曽東 1-37-36  
☎042-785-5685

# 地域



ホームページ  
委員会

**ケアセンター成瀬住民の会**

- ・役員会+6委員会+事務局
- ・運営協議委員会

広報委員会

行事委員会

地域ケア委員会

ボランティアグループ  
委員会

研修委員会

縫製  
グループ

園芸  
グループ

囲碁  
グループ

成瀬りんごの会  
(資源回収)

調理グループ  
「暖」

ボランティアグループ

施設ガイド  
グループ

ぶどうの会  
デイ&特養サポート

ダンケムジークの会  
(コンサート)

秋桜会  
(広報紙配布)

社会福祉法人・創和会

- ・デイサービス
- ・地域密着型特別養護老人ホーム
- ・ヘルパーステーション
- ・ケアマネジメントセンター
- ・木曽東グループホーム園(まどか)

支援などの要請

サービス提供

特定非営利活動法人

NPO アップルサービス

◇ 事業 ◇

- ・食事サービス  
デイサービス・特養老人ホームの食事
- ・ホームヘルプサービス  
介護保険外サービス
- ・すまいサービス  
草取り・庭木の剪定・ペンキ  
電球交換・網戸、ふすま張替え他

## ケアセンター成瀬住民の会のあゆみ



1992年に立ち上がり 歩み始めたケアセンター成瀬住民の会は常に地域とともに成長してきました。

1989年	平成元年	(住民の会の前身「暖家の会」が産声をあげる)
1992年	平成4年	・「成瀬台に高齢化社会を共に生きるためのコミュニティーセンター建設を求める陳情」を町田市長に提出
1993年	平成5年	・「ケアセンター建設促進住民の会」設立 ・「ケアセンター成瀬ニュース」第1号発行
1994年	平成6年	・3級ヘルパー養成講座を開講
1995年	平成7年	・「ケアセンター成瀬」着工 ・社会福祉法人「創和会」設立が東京都より認可される
1996年	平成8年	・在宅高齢者サービスセンター「ケアセンター成瀬」開設 ・ティールーム「暖」営業開始 ・「ケアセンター成瀬 住民の会だより」第1号発行 ・13のボランティアグループ結成
1997年	平成9年	・ダンケムジークの会 発足記念コンサート開催
1999年	平成11年	・特定非営利活動法人「エヌピーオーアップルサービス」を設立
2000年	平成12年	・介護保険法施行により、社会福祉法人「創和会」は個人との契約による介護サービス事業者となる
2002年	平成14年	・バザー収益で掲示板を設置し、情報発信を始める
2004年	平成16年	・会の名称を「ケアセンター成瀬住民の会」に変更
2005年	平成17年	・スウェーデンのモニカ・バリルンド氏による講演会「認知症ケアにおける施設と介護職の役割」を開催 ・一人暮らしの高齢者への「ほっとコール」がスタート
2006年	平成18年	・広報紙の名称を「住民の会だより」に愛称「りんご箱」を加える
2008年	平成20年	・ケアセンター成瀬まつりの収益でAED(自動体外除細動器)を購入
2010年	平成22年	・ケアセンター成瀬の大改修計画発表
2011年	平成23年	・日本赤十字社を通じ東日本大震災被災地に10万円を寄付 ・地域密着型特別養護老人ホーム ケアセンター成瀬 暖家 開所 ・社会福祉法人「創和会」経営のシニアカフェ「花みずき」開店
2013年	平成25年	・ダンケムジークの会 第50回コンサート開催 ・広報紙「りんご箱」第100号発行
2014年	平成26年	・住民の会設立20周年記念 アルフォンス・デーケン先生講演会「輝いて生きるために」を開催 ・住民の会ホームページがリニューアルされる
2016年	平成28年	・ケアセンター成瀬開設20周年記念行事が開かれる
2017年	平成29年	・ケアセンター成瀬住民の会 活動アンケート実施
2018年	平成30年	・「花みずきのおしゃべり会」がスタートする ・住民の会が東京都知事推薦「生き生きシニア活動顕彰」を受賞する
2019年	平成31年 令和元年	・「りんご箱」120号(記念号)を発行 ・園芸グループが町田市花壇コンクールで優秀賞を受賞する
2020年	令和2年	・新型印刷機が導入され「りんご箱」のカラー印刷が可能となる ・コロナ禍によりすべての行事が中止を余儀なくされる (カフェ花みずきも休業)
2022年	令和4年	・研修委員会が「出張スマホ講習会」を開催する
2023年	令和5年	・「花みずきのおしゃべり会」と「バス旅行」が再開される
2024年	令和6年	・住民の会設立30周年にあたり「りんご箱」140号(記念号)が発行される

## 思い出すことなど — 躍動の時期

住民の会初代会長 木下 康 仁

住民の会が30周年を迎えたとうかがいました。お祝い申し上げます。30年という時間は大変な長さで、私自身も40歳のときでした。主に1990年代の10年強、数度の市の検討委員会を経て住民の会、そして、創和会の設立に關わらせていただきました。

今日までさまざまな形で参加された住民の会の皆さんに敬意を表します。

当時、2000年からの介護保険制度に向けて日本全体が高齢化への対応をめぐって活気に満ちていました。家族の犠牲による介護から社会で介護問題に対応する方向へ、国の制度も明治以来の措置制度(行政処分としての公的福祉)を廃止し、ニーズによるサービス提供へ、施設重視から地域在宅ケアへ、住民に一番近い市町村がニーズ調査とサービス提

供の中心となること、安静よりも早期リハビリのケアへ、等々、実に明治維新以来の国の福祉の形が変わる時期でした。高齢化とはそれほどの変革を迫る現象でした。

日本の中でもいくつか先駆的な取り組みが紹介され、その中の一つがケアセンター成瀬の試みでした。西嶋先生をリーダーに、地域住民が主体となって自分たちの高齢化、介護の課題に取り組みもうとする運動でした。高齢化の問題は人任せで済ますことのできないこと、つまり、これはコミュニティの在り方なのだというメッセージを日本の中で発信していきました。住民の会は、夢と理念の共有をエネルギーに、まだ存在しないものに形を与える活動を推進していき、町田市の支援のもと社会福祉法人格を取得し、設計段階からセンターの建設に積極的に参画し、建設中の管理や運営のためのさまざまな準備に取り組みました。

ハード面、ソフト面で新

しいものを創る作業は多くの人たちの力を結集しなくては到底不可能で、何か課題が出てくるたびにそれならどこの誰が力になってくれると言った発言が委員会の中で出てきたことをよく覚えています。住民は優れた人的資源で、必要性を浮かび上がらせる社会的コンテキスト(期待役割)があれば思わぬ人が登場する。ケアセンター成瀬の実現はそれ自体が人と人をつないでネットワーク化していくコミュニティづくりでした。

状況は時間と共に変化するものですが、原点は風化しません。30年という時間は来し方を振り返るよい機会になります。

### 祝 住民の会設立30周年

「共に生き、共に支え合う  
まちづくり」を  
未来へ繋げよう！！



### NPO アップルサービス すまいサービス 事業部代表 原 厚 平

最近うれしいことがありました。すまいサービスの広範な作業内容に対応できる有能なスタッフが現れました。すでに活動を開始していますが利用者の皆様とともに価値ある活動を展開したいと努力しているところで、見守っていただきたいと思ひます。

ケアセンター成瀬は地域の在宅介護の拠点として生まれましたが、2000年の介護保険開始とともにこの地域と周辺で多数の介護施設ができ大きな影響を受けるようになりました。住み慣れた家でできる限りストレス少なく生活することは贅沢かも知れませんが、大切なことです。すまいサービスを利用して実現してください。

### あの頃 皆も若かった！

住民の会副会長 島 峯 紀 子

長いようで貴重な月日の30年、懐かしい思い出は数々あり、中でも毎年秋に開催された「ケアセンター成瀬まつり」は凝縮され脳裏に残っています。各家庭で大事に使われていた品々、又誰かの元で役に立つ物が連日運び込まれ会議室を占領し値段付けの時を待ちます。後日約30名のボランティア・センタースタッフが連夜集まり値段付け、適正価格を決める難しさも実感し当日を迎えます。売り子の募集、売り場の設営、飲食担当の厨房は前日より準備で大忙し。

当日は開場前から大勢のお客様。施設の内外は大盛況。創和会・住民の会・NPOアップルサービスが一つの目標に向かい取り組んだ最大の行事です。苦楽を共にした仲間達と「あの頃皆も若かった」と語り合う昨今です。

コロナの影響で中止の続く近年ですが、又いつかあの賑わいと皆の熱意と終わった後の達成感を味わう日が戻ってくる事を望みます。

2021.3.29

東京都から譲り受けた非常食の配布準備をする住民の会事務局の方々



### ボランティアグループ

ぶどうの会代表 永尾陽子

30数年前、40代50代だった住民は燃えていました。親世代の老後のため、この地に老人介護・福祉のセンターを作りたいと。

当時、公的な介護施設しかない中、寺田市長を始めとして、町田市は運営を住民に委ねるとの構想を打ち出してくれました。

また、東京都は資金のない私達に対して、運営が稼働してからの運営費を資金とみなして、社会福祉法人格を授けてくれました。

こうした多くの善意のもと、ケアセンター成瀬は誕生しました。私達住民を信頼してのこれらの好意を無にしてはいけないと思います。

今や世代交代が必要な私達ですが、作り上げた当時の努力に思いをはせ、ケアセンター成瀬を担いでいかなければならないでしょう。

現在多くのボランティアがケアセンター成瀬を支えて活動していますが、これからもより多くの力で支えていきたいと思っています。

### 「ダンケムジークの会」今

ダンケムジークの会 運営委員 米澤二美

1997年1月発足コンサートを皮切りに2019年10月まで、67回のコンサートを積み重ねてきました。続く68回69回の企画を延期にしたまま、マスク生活へと突入したのでした。

音楽を仲立ちとするコミュニケーションは、断たれて一層その大切さを思い知らされたのではないのでしょうか。演奏者・スタッフ・施設のご利用者等々、多くの方と手を携えて作り上げてきたコンサートは、今は過ぎた時の中にあります。すべてボランティアで成されてきたとは奇跡のような時でした。今は施設での再開の見通しはありませんが、ダンケムジークで培った経験や人との絆は今も宝物です。メンバーそれぞれの場で、その宝は生かされている事と思います。また、先立った方々の顔が浮かび感謝の思いが募ります。

他施設での音楽活動が少しずつ開かれてきている昨今、デイサービスでの演奏など、求めに応じられる日が来ることを願っています。



### 住民の会30周年を迎えるにあたって

住民の会事務局 村山恵美

ケアセンター成瀬の開所前に資金を集めるために、映画会・講演会・バザー等、皆と団結して楽しく成功させた事が、とても印象に残っています。

30年前は皆も若かったので活気があったと思います。その3年前に住民の会を立ち上げる活動を始めました。

主人は建設委員長や役員としてもいろいろな行事に奮闘して参りました。NPOの組織にも一年かけて皆と協議し、初代理事長にもなりましたが、一年で原厚平さんをお願いし交代しました。現役で仕事との両立で大変だったと思います。4年前に病気をし、現在は静かに過ごしております。

私も設立の時には「暖」を高綱さんと一緒に進めてほしいと西嶋先生に依頼され、私にできるかと不安もありましたが、何とか進めなければと、皆様と必死でした。

この頃からか、ボランティアが生き甲斐になったような気がします。

### NPOアップルサービス理事長

食事サービス代表 高綱美智子

ケアセンター成瀬建設準備の頃、研修委員会食事サービス部会で高齢者食の研究と実践に係りました。当初から私のまわりには情熱溢れる方々が大勢おられて、今でも時折その場面を懐かしく思い起こしています。

ケアセンター成瀬が軌道に乗りNPOアップルサービスが始動後は、任意ボランティア団体の住民の会のあり方が問われた時期でした。「共に生き支え合うまちづくり」を担う本会のあり方再構築を目指し、多くの会員が何度も熱心に検討を重ねた結果は現在の本会運営の基礎になりました。

歳月が経ち、私達は高齢化してケアセンター成瀬を利用する側に立ってきたようです。身近に頼れる高齢者施設があつて良かったと思います。

住民の会は今以上に若い世代も含めた地域住民や会員の交流と支え合いを深める媒介体の存在であつて欲しいです。

これからも私のケアセンター成瀬通いが続きそうです。

# 写真で見る住民の会 今昔物語



1998年 新春交流会



2000年 新春交流会



2020年 新春交流会



2021年 新春交流会



2014年 田中邦夫様よりワイヤレスアンプ寄贈



1998年 ダンケムジーク 第7回コンサート



2018年 ダンケムジーク 第64回コンサート

1998年 ケアセンター成瀬まつり



(写真家 木村松夫さん撮影)

大賑わいのケアセンター成瀬まつり



2018年 ケアセンター成瀬まつり



1998年南伊豆 1泊2日バス旅行

12月2日(木)		
ケアセンター成瀬	東名 (休憩) 沼津 IC	
9:00 出発	足柄SA	10:20-10:40
(入庫・見学) 御用部記念公園	伊豆中央道・修善寺道路	
11:30-12:20	三津浜千鳥会館	天城トンネル
(休憩)	(夕食・宿泊) 伊豆オレンジセンター	下賀茂温泉「おもむきの宿石廊館」
14:55-15:15		16:00 帰到着
12月3日(木)		
(朝食) ホテル	西伊豆バイパス	(昼食) 船原甚五郎
9:30 出発	松崎長八美術館	12:45-13:45
修善寺道路・伊豆中央道	(休憩) 沼津さかなセンター	(休憩) 海老名SA
	14:45-15:15	16:10-16:25

南伊豆バス旅行案内  
おもむきの箱 石廊館



2019年 箱根 日帰りバス旅行



「住民の会のこれまでと  
未来への想い」

小竹 金次

私は30年間、事務局の一員として住民の会を見守ってきました。

当会の最も大切な基本精神は30数年前、西嶋公子先生が呼びかけた「地縁による自主・自発性の支え合い」です。その呼びかけで結成され活動を開始した「暖家の会」(ボランティア団体)は地域の共感を呼び、数千名の陳情などにより1995年「ケアセンター成瀬」が実現しました。そして「暖家の会」を母体に当会は結成されました。

住民の会が30年続いた要素は「ケアセンター建設」に行政と住民の協力体制が確立できたこと。その後の運営のため(社福)創和会・NPOアツプルサービスを設定しました。これらにより上記三者の絶妙な協力体制が実現し運営されてきたことです。

当会30年の最大成果は「都市における高齢社会の新しいコミュニティ創成の有力モデル事業として成功したこと」と考えています。

現在我が国は超高齢社会に突入し様々な問題が発生しています。その対応は介護保険を中心軸にして運営されています。しかし、これら諸制度は国及び個人個人の財政難により破綻寸前になっています。利用者は介護保険の認定を受けても個人負担の負担がでず利用できない。介護事業者は資金不足で職員を募集しても応募者がいない。これらの問題は急速に深刻度を増しています。これらの進展は「30年前に介護保険がなかった時と似た状態になりつつある」と認識せざるを得ません。

当会の活動は益々大切になります。これまで地域の多くの諸活動に協力してきました。「なるせだいまつり」と「どんど焼き」は行事の中核を支えています。

新たに新年から世代を超えた「寺子屋ごはん」の活動が注目されています。

このような地域の活動を支え協力し共に活動することにより、今後も当会の理解を深めていくことが大切

南伊豆下賀茂温泉バス旅行



長島 誠さんイラスト  
(平成9年12月)

「住民の会を支えて  
下さった懐かしい方々」

小林 一朋

平成8年秋、定年退職後地域活動として早朝ラジオ体操を立ち上げ、自治会参加等で地域の皆様との交流が出来ました。

平成11年厚労省の後援で「町田市健康な町づくり検討会」が企画され成瀬台をモデルとして高齢者が健康で安心して生活できる町づくりが始まり、私は早朝ラジオ体操で健康づくりの

代表として参加しました。創和会、住民の会の代表として岩崎寿美男様、山田敏雄様、井口裕様、塚本誠子様も重要な役割で参加されました。

創和会・ケアセンター成瀬住民の会は30年前、地域のシンボルとして西嶋公子理事長のリードでスタートし第一回の役員には以下の方々が就任されました。

- 会長 木下 康仁
- 副会長 井上 恭一
- 事務局長 西嶋 公子
- 事務局 小竹 金次
- 地域ケア研究 村山 恵美
- 委員会 山田 敏雄
- 研修委員会 井口 裕
- 広報委員会 岩崎 三幸子
- 八木 フミ
- 岩崎 寿美男
- 山田 敏子
- 村山 知
- 企画行事 中村 文子
- 委員会 高綱 美智子
- 事業検討 志村 早苗
- 委員会 常磐 敏紀
- 監事 島峯 紀子

そのほかに活躍された方々は数しれず、一人一人の顔が懐かしく思い出されます。

囲碁グループのリーダーとして活動され住民の会の会計も担当して下さった藤原重男様、広報委員長として存在感を示された齋藤高康様、書道の腕を活かしてデイサービス趣味活動の指導を続け「りんご箱」のロゴをはじめ行事のたびに表題文字を書いて下さった大野福三郎様、見事なイラストで広報紙に彩りを添えて下さった長島誠様・・・この紙面にはとても書ききれないほどの方々が住民の会をここまで育てて下さいました。

今、どこの団体でも後継者不足が悩みの種となっていますが、先人の皆様ご安心ください。現役の小竹金次様、佐藤康夫様、高綱美智子様、島峯紀子様、村山恵美様、そしてケアセンター成瀬住民の会の多くの皆様日々頑張っています。

(敬称略)

### ケアセンター成瀬住民の会

#### 2024年、2025年度役員改選のお知らせ

- ①役員選考候補  
会長1名 副会長2名 事務局長1名  
会計担当2名 監事2名
- ②候補者受付 2/26(月)~3/4(月)
- ③告示・投票 3/5(火)~3/11(月)  
\*役員候補は自薦・他薦とし投票する  
\*候補者受付、投票時間  
午前10時~午後4時
- ④開票 3/12(火)

※候補者受付、告示、投票は住民の会事務局で取り扱います。ホームページもご覧下さい。

### ケアセンター成瀬住民の会

#### 2024年度通常総会開催のお知らせ

- \*日時 2024年4月21日(日)  
午前10~12時
- \*場所 ケアセンター成瀬1F会議室

### NPOアップルサービス 通常総会開催のお知らせ

- \*日時 2024年5月26日(日)  
午前10時~12時
- \*場所 ケアセンター成瀬1F会議室

#### これからの催し物

- \*住民の会通常総会  
日時 4/21(日)午前10時~  
会場 ケアセンター成瀬1F会議室
- \*花みずきのおしゃべり会  
日時 3/13(水)午後2時~  
会場 ケアセンター成瀬1F会議室
- \*資源回収(毎月第4火曜日)雨天決行  
2/27、3/26、4/23  
(新聞紙、雑誌、本、古着、アルミ缶、  
段ボール等)ご協力ください。

### 花みずきのおしゃべり会 12/13

今年最後の行事「花みずきのおしゃべり会」が催されました。

師走とは思えぬ暖かい日で、参加の20名の皆様は、クイズ、ストレッチに挑戦し、頭も身体もポツカポツカになりました。



これは誰の目だ?

住民の会の行事は、まだ実施できないものも多く、その中でもおしゃべり会は会員同士の交流があり皆さん開催を楽しみにして下さいます。今日はお土産にクリスマスパッケージのお菓子を頂き、一足早いプレゼントに皆様につきり♡



佐藤会長もストレッチ

#### 会費納入のお願い

会費未納の方は下記の方法で

納入をお願い致します

- 1 住民の会事務局窓口(日曜・祝日休) 月~土 10:00~16:30
- 2 銀行振込先  
きらぼし銀行玉川学園支店

口座:(普)060-0501790  
名義:ケアセンター成瀬住民の会

※ご一報くだされば集金に伺います

#### ケアセンター成瀬住民の会事務局

住所 町田市成瀬台3-24-1  
電話・FAX 042-729-0617

ホームページ:

<http://ccnjk.com>



#### 編集後記

★30年間「りんご箱」を一度も休むことなく作り続けてきた。読み易く、お役に立つ紙面をお届けしたいと広報委員会も印刷機も頑張っています!お手伝い下さる皆様に感謝です。(O)  
★人と会うことを禁じられたコロナ禍の日々もメールでの遠隔会議で「りんご箱」発行は続き、世の中が再び動き出す今、住民の会がめでたく30周年を迎えた。新たな一歩に乾杯!(K)  
★広報委員会に関わって何年になるだろうか?たくさんの方とお会いして貴重なお話を伺い、豊かな感性に触れることが出来た。私の人生の御馳走です。(F)  
★りんご箱の広報委員を当初からされている方々の熱意に畏敬の念を感じずにはいられません。住民の会と会員をつなぐ架け橋として明るく、楽しい記事が満載なりんご箱をお楽しみください。(Y)

